



昭和49年
「水と緑のまごころ国体」での茨城県選手団入場行進
提供：茨城県 国体・障害者スポーツ大会局

Column
市長コラム

国体本番
応援に行こう！

今月28日に茨城国体がスタートし、市内では正式競技の軟式野球、クレー射撃、ゴルフの3競技が行われます。ボランティアの方々と関係機関のご協力を得ての開催であり、心より感謝申し上げます。

国体には笠間市出身の選手も出場します。国体競技を見学する機会は少ないと思いますので、ぜひ会場にお越しいただき、応援をお願いします。

国体は、戦後の荒廃と混乱の中で、スポーツを通して国民に、とりわけ青少年に勇気と希望を与えようと昭和21年にスタートし、茨城県では今回が2回目の開催となります。

少子化に伴い、団体競技を中心にチーム数が減少し、地方大会の維持等に課題が出てきています。最近、国体の在り方について様々な意見がありますが、スポーツの振興を図るうえでは、内容をしっかりと議論して、時代にあつたより良いスポーツの大会として充実させていくことが必要だと思えます。

今回の大会には、市職員が2名出場します。1名はライフル射撃の竹澤隼、もう1名は女子ソフトボールの東野美咲です。

応援をよろしくお願いします。

今月のピックアップ

皆さんは、キャッシュレス決済をご存知ですか？

「キャッシュレス決済が10月から本格稼働」

買い物のときにSuicaやnanacoなどの電子マネー、クレジットカード、スマートフォンのアプリなど、現金以外で支払いをするサービスのことをいいます。

日本はこれから、2020年の東京オリンピックや2025年の大阪万博など、世界的なイベントを続けて控えていて、世界中から多くの観光客が訪れることになります。

近年はいろいろな国でキャッシュレス決済が主流になってきているので、多くの外国人は現金をあまり持ち歩きません。外国人観光客が日本で買い物しようとしても、その店舗がキャッシュレス決済に対応しておらず、購入を諦めるという現状があります。

「買いたい」という人がいても、売するための環境が整っていないれば利益を生むことはできません。

日本全体でキャッシュレス決済導入の動きが高まっている今、キャッシュレス決済の導入を考えてみませんか。

詳細については、14ページの情報しつとく日和をご覧ください。